

ジャノメグループ

**環境報告書 2016**



# 企業理念

ジャノメは世界の人々の豊かで創造的な生活の  
向上を目指す。

ジャノメは常に価値ある商品とサービスの提供を  
通じて社会・文化の向上に貢献する。

# 編集方針

ジャノメグループは、ステークホルダーの皆様当社グループのESG情報（環境、社会、ガバナンス）を適宜発信していくことが重要と考えており、本報告書はそのためのコミュニケーションツールと位置付けています。今回から当社グループの生産拠点を全て報告対象範囲とした他、レイアウトなどの見直しを行い、より読みやすい内容になるよう編集をしています。

当報告書について、ご意見等ございましたら、下記問い合わせ先までご連絡下さいますよう、お願い申し上げます。

### 【対象期間】

2015年4月1日～2016年3月31日

※対象期間外の事象を取り扱う場合はその旨を明記しています。

### 【報告日】

2016年8月1日（年1回発行）

### 【対象範囲】

蛇の目シン工業(株)、ジャノメダイカスト(株)、ジャノメ台湾(株)、  
ジャノメタイランド(株)、ジャノメダイカストタイランド(株)

### 【報告媒体】

当社ウェブサイト上に公開

[http://www.janome.co.jp/company/environmental\\_report.html](http://www.janome.co.jp/company/environmental_report.html)

### 【参照したガイドライン】

環境省「環境報告ガイドライン2012年度版」

### 【問い合わせ先】

蛇の目シン工業株式会社 内部監査室

TEL：042-661-2379 FAX：042-661-2177

E-mail：j-csr@gm.janome.co.jp

### 【表紙写真】

コバノミツバツツジの花（高尾山にて撮影）

# CONTENTS

トップ・メッセージ・・・・・・・・・・・・・2

事業紹介・・・・・・・・・・・・・3

## 環境報告

環境マネジメント体制・・・・・・・・・・・・・4

グループ環境方針

ISO14001認証の継続取得

環境関連法令の順守

環境教育

化学物質管理

2015年度の環境パフォーマンス・・・・・・・・・・・・・7

事業活動に伴う環境負荷の全体像（マテリアル・バランス）

主な環境目標とその実績

事業プロセスにおける環境配慮活動・・・・・・・・・・・・・9

研究開発での取り組み

調達での取り組み

生産での取り組み

物流での取り組み

その他の取り組み

## 社会性報告

お客様への取り組み・・・・・・・・・・・・・12

品質保証

お取引先様への取り組み・・・・・・・・・・・・・13

公正な取引・調達活動

社会への取り組み・・・・・・・・・・・・・14

社会貢献活動

従業員への取り組み・・・・・・・・・・・・・15

多様性の尊重

人材育成

ワーク・ライフ・バランス

メンタルヘルスケア

労働安全衛生

## 企業統治

コーポレート・ガバナンス・・・・・・・・・・・・・18

基本方針

監査等委員会設置会社への移行

コンプライアンス

リスク管理

個人情報保護

適切な情報開示

## データ集

連結経営成績及び財務データ・・・・・・・・・・・・・21

企業情報・・・・・・・・・・・・・22

会社概要

関連グループ会社

 このマークのついているURLをクリックするとウェブサイト上でも情報をご覧いただけます。

# トップ・メッセージ

当社グループは2021年に創業100周年を迎えます。これまで約1世紀に亘り家庭用ミシンの研究開発・製造・販売を通じて、「世界の人々の豊かで創造的な生活の向上」という企業理念の実践に努めてまいりました。今年度は、新しい中期経営計画である「JANOME BREAKTHROUGH 2018」のもと、次の100年を見据えた新しいスタートを切っています。経済的な価値に留まらず、社会、環境も含めた多様な価値の創造を目指して、引き続き努力していく所存でございます。

本報告書について申し上げますと、今年度から環境に対する影響の大きい海外の生産拠点を全て報告対象に含めています。当社グループは、今後もグループ環境方針を柱として、各拠点の環境マネジメント体制のもと、CO<sub>2</sub>削減、省資源・省エネルギー、有害物質管理といったテーマに積極的に取り組んでまいります。

この報告書がステークホルダーの皆様にとって、当社グループへのご理解を深めていただくためのツールとなれば幸いです。今後とも一層のご理解、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2016年7月

代表取締役社長

大場 道夫



# 事業紹介

## 家庭用機器事業

家庭用機器事業の中でも、家庭用ミシンは創業当時から事業の柱です。当社は老舗ミシンメーカーとして、刺しゅうやキルト縫いなどを1台でこなす最高級機種から普及品まで幅広く供給しています。また、ミシン製造に留まらず、各支店ではソーイング教室を開催している他、「手づくりの楽しさ」を広めるためのコンセプトショップ「ポピナージュ（東京都・吉祥寺）」や地域に密着したコミュニティパークとしてオープンした「ジャンメソーイングパーク長岡店（新潟県・長岡市）」の運営、各種展示会への出展など、ソーイング文化の普及にも力を注いでいます。ミシン以外にも、24時間いつでも入浴できる「24時間風呂」の製造・販売を行っています。



刺しゅうミシン セシオ14000



24時間風呂 湯名人CX



ロックミシン 1200D

## 産業機器事業

産業機器事業は、家庭用機器事業に次ぐ第二の柱として成長著しい事業です。ミシンの開発で培った「高精度位置制御技術」をベースに、塗布・ねじ締め・はんだ・基板分割など様々なアプリケーションに対応する「卓上ロボット」、高い精度と簡易操作が特長の「スカラロボット」、速度・位置・荷重を精密に制御する高精度の「サーボプレス」などを開発・製造・販売しています。これらの製品は国内外の自動車部品・IT・エレクトロニクス等の製造分野で活躍しています。その他、さまざまな産業分野の機器部品に利用されるダイカスト品・石膏鋳造品の製造及び販売をグループ会社で行っています。



スカラロボット JSTHシリーズ

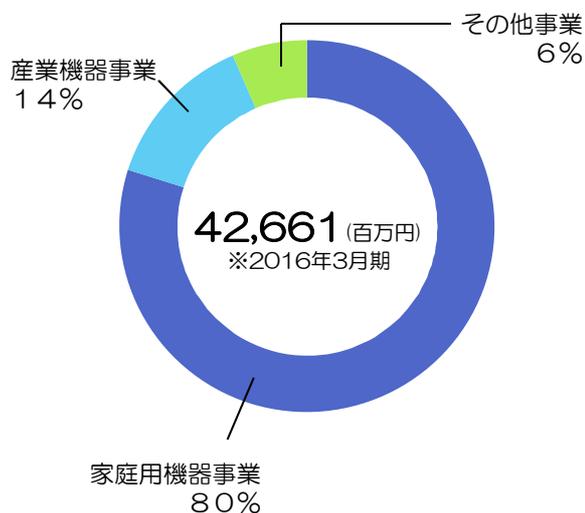


サーボプレス JPシリーズ4

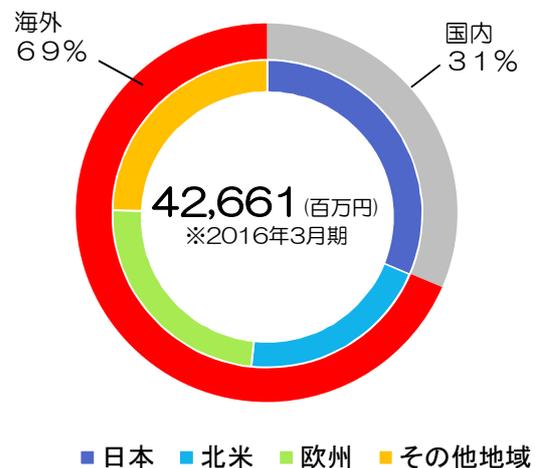


卓上ロボット JR3000シリーズ

## セグメント別売上高



## 地域別売上高



# 環境マネジメント体制

地球環境問題へ貢献すべく、下記の通りグループ環境方針を定め、ISO14001やエコアクション21を軸にした環境マネジメント体制のもと、環境配慮活動を行っています。

## グループ環境方針

### 【理念】

ジャノメグループは「自然と人が調和した地球環境の保全」が人類共通の最重要課題の1つであることを認識し、企業活動のなかで環境の保全に配慮し、社会の持続的発展に貢献する。

### 【方針】

1. 生産活動と商品・サービスの提供を通じて、CO<sub>2</sub>排出量の削減に取り組む。
2. 全ての事業プロセスにおいて3R（リデュース、リユース、リサイクル）を推進し、省資源・省エネルギー化に取り組む。
3. 環境負荷の低減に貢献する製品・サービスを創出し、環境の面からも社会に貢献する。
4. 人や環境に影響を与える有害物質の管理に取り組み、環境リスクの低減を図る。
5. 環境への取り組みについて、積極的に情報を開示する。

2015年7月29日

蛇の目マシン工業株式会社

代表取締役社長 大場 道夫

## ISO14001 認証の継続取得

当社グループでは、全ての生産拠点においてISO14001やエコアクション21の認証を取得しており、それぞれが環境マネジメント体制の管理・運用を行っています。

当社では代表取締役社長を最高責任者とし、経営層が任命した環境管理責任者を中心として、品質/環境管理委員会の場でISO活動について報告と協議が行われます。日々の活動は環境マネジメント体制のもと行われており、これらの活動は年に1回行われる外部機関による外部審査や内部監査でチェックされます。1年間の活動はマネジメントレビューの場で経営層に報告され、PDCAサイクルを回して改善を行っています。

2015年度は当社の認証範囲を企画・管理・営業部門まで拡大し、全社一丸となった取り組みを展開しています。



認証登録証

《当社グループのISO認証取得状況》

会社名	ISO14001	ISO9001
蛇の目マシン工業(株)	○	○
ジャノメダイカスト(株)	— (エコアクション21を取得)	○
ジャノメダイカスト(株) 関西工場※	○	○
ジャノメ台湾(株)	○	○
ジャノメタイランド(株)	○	○
ジャノメダイカストタイランド(株)	○	○

※ ホウセイ工業(株)は、2015年10月にジャノメダイカスト(株)と合併し、ジャノメダイカスト(株)関西工場となりました。

## 環境関連法令の順守

当社グループでは、各環境関連法令の他、各自治体の条例を順守しています。法令・条例等の動向は定期的にチェックしており、自社で環境測定を実施してモニタリングを行っている他、必要に応じて第三者分析測定機関へ測定を依頼し、規制値の順守状況を確認しています。なお、2015年度は環境に関連した苦情や事故は発生していません。



ジャノメダイカストタイランド(株)の排水浄化装置。水質調査を毎日行い、異常がないか確認しています。

## 環境教育

当社では新入社員研修でISO14001について学ぶことに始まり、その後職制や業務内容に応じた環境教育を適宜実施しています。2015年度に行われた主な教育は下記の通りです。

### 環境法規制セミナーの実施



厳しさを増す環境法規制に確実に対応するため、関連部門を対象に、製品含有化学物質に関する規制の最新動向や管理について、社外講師を招いてセミナーを開催しました。

### 教育資料の配信



2015年3月より社内向けに化学物質管理に関する法規制や有害物質等の情報を「ミニ通信」として継続的に配信しています。

### 内部監査員教育



2015年度はISO14001の認証範囲拡大を受け、主に拡大対象組織の社員を対象に内部監査員教育を2日に亘って行い監査員を増員しました。

## 化学物質管理

当社グループでは、人体や環境に影響を与える化学物質について、各法規制や社内規定に基づき適正な管理をしています。当社ではPCB\*含有機器を保有しており、これまで30台の処理を行いました。残る機器においても厳重に保管・管理しており、順次適切に処理をする予定です。

\* PCB（ポリ塩化ビフェニル）はその優れた絶縁性、不燃性からトランス、コンデンサといった電気機器に多く使われていましたが、1968年に発生したカネミ油症事件によりその毒性が大きな問題となりました。

### TOPICS

#### 有機溶剤の緊急対策

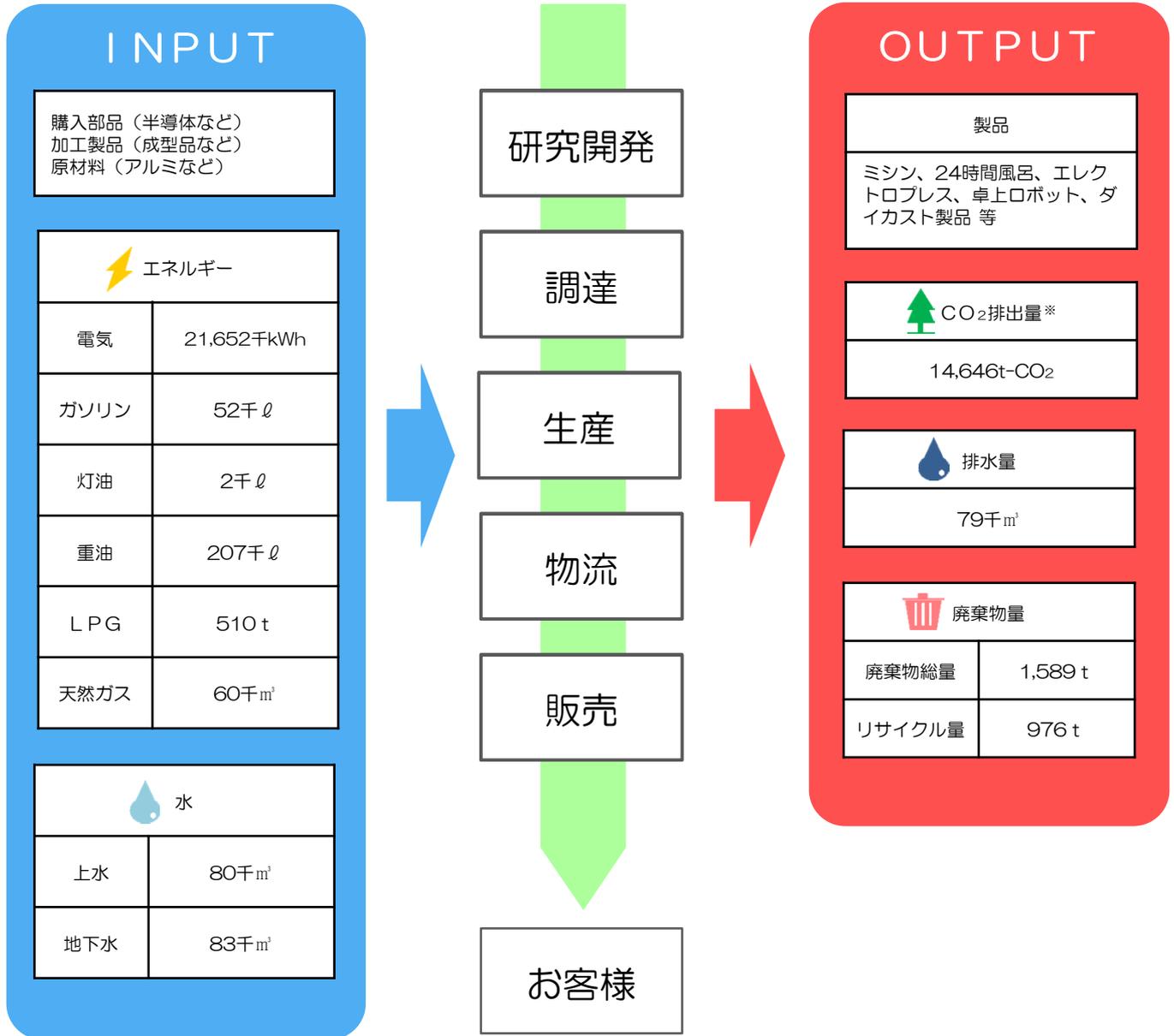
ジャノメダイカスト(株)では、作業工程で使用する有機溶剤が人体や環境に与える影響を考慮し、保管容器の転倒時に備えた対策を行っています。作業場に有機溶剤がこぼれた際に必要となる道具の置き場所を写真つきで示している他、防災訓練の実施項目のなかに、有機溶剤等の保管容器転倒後の処置を盛り込み、緊急時の対応を実践しています。



# 2015年度の環境パフォーマンス

事業活動に伴い発生する環境負荷を把握し、環境負荷低減のための活動を展開しています。

## 事業活動に伴う環境負荷の全体像（マテリアル・バランス）



集計範囲：蛇の目ミシン工業(株)、ジャノメダイカスト(株)、ジャノメ台湾(株)、ジャノメタイランド(株)、ジャノメダイカストタイランド(株)

※ CO<sub>2</sub>排出量は、環境省・経済産業省「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアル(Ver4.0)」及び「GHGプロトコル」をもとに算出しています。

## 主な環境目標とその実績

グループ環境方針および各社の環境方針に従い環境目標を設定して活動を行っています。サイト別の主な環境目標とその実績は以下の通りです。

○：目標達成 △：目標未達だが改善 ×：目標未達

テーマ	主な環境目標	取り組みサイト	主な実績	達成度
3Rの推進 省エネ・省資源の推進	廃棄物分別の徹底による再資源化	全サイト	使用済み用紙回収箱の設置（本社） 灰絞り機によるアルミ回収（ダイカスト関西工場）等	○
	事業所・作業場における省エネの取り組み	全サイト	LED化推進 環境に配慮した設備への更新等	○
CO2排出量の削減	対前年実績以下	本社	4.7%減 （換算対象：電気）	○
	5%削減（売上高対比）	ダイカスト	18.8%減 （換算対象：電気、重油、ガソリン、軽油）	○
	0.5%削減（総量）	台湾	6.8%減 （換算対象：電気）	○
	5%減（総量）	タイ	15.6%減 （換算対象：電気）	○
	10%減（生産量対比）	ダイカスト タイ	3.5%減 （換算対象：電気）	△
製品・サービスにおける環境への取り組み	環境配慮型製品を開発	本社	新機種の外装部品軽量化 ミシンランプのLED化推進 産機製品の部品共用化 製品含有化学物質規制への対応	○
有害物質管理	水溶性切削油の消費量を前年対比10%減	ダイカスト タイ	17.5%減	○
	有機溶剤の製品1台あたりの平均使用量を前年対比1%減	台湾	シンナー 13.6%減	○
	化学物質使用量を売上対比5%削減	ダイカスト	ジクロロメタン 34.4%減 六フッ化硫黄 21.2%減	○
情報開示	環境報告書の発行	本社	環境報告書2015の発行 社外向けホームページに社会・環境ページを新設	○
環境マネジメント体制の維持・改善	ISO14001及びエコアクション21の認証継続	全サイト	認証の継続取得	○
	内部環境監査員の増員	本社	内部環境監査員を35名増員	○
	各国の環境法規制への対応	全サイト	大気汚染、水質汚濁、騒音等に関連する各国の環境法規制の順守	○

### 取り組みサイトの略称について

本社⇒蛇の目ミシン工業㈱、ダイカスト⇒ジャノメダイカスト㈱、台湾⇒ジャノメ台湾㈱、タイ⇒ジャノメタイランド㈱、  
ダイカストタイ⇒ジャノメダイカストタイランド㈱

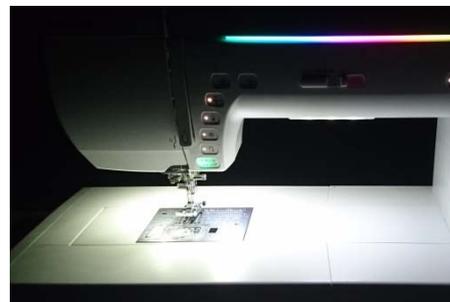
# 事業プロセスにおける環境配慮活動

当社グループの各事業プロセスにおいて行われている環境配慮活動をご紹介します。

## 研究開発での取り組み

当社では製品自体の環境負荷低減のため、家庭用機器や産業機器の研究開発において、省資源、省電力、長寿命化、有害物質の削減といったテーマに取り組んでいます。

2015年度はミシンの新規開発機種において、外装部品のABS樹脂を従来機種に比べ平均6.5%削減することを達成した他、引き続き省エネ・長寿命であるLEDの採用を推進しています。産業機器についても、部品共用化等を実施し、製品の省資源化に取り組んでいます。



LEDを搭載した  
「セシオ14000」

## 調達での取り組み

### グリーン調達ガイドラインに基づく調達活動

当社グループでは2011年に「グリーン調達ガイドライン」を制定し、RoHS指令、REACH規則をはじめとした様々な化学物質規制を順守すべく各生産拠点と連携を取りながら適切に対応しています。本ガイドラインに基づき、サプライヤー各社の協力を得ながら規制物質含有の有無や含有量の調査を行い、不適合なものについては適合させるように対応しています。



グリーン調達ガイドライン (Ver. 1.8)



グリーン調達ガイドライン

<http://www.janome.co.jp/company/greenguideline.html>

## 生産での取り組み

### LED照明の推進と自然光の利用

ジャノメタイランド㈱では生産ラインや事務所に設置されていた蛍光灯約3,700本をLEDに変更しました。これにより、1本あたりの照明用電力を36Wから18Wまで削減することができました。また、資材倉庫前通路の天井部分に設置していた照明を撤去し、新たに自然光を取り入れるための窓を設ける取り組みを実施し、工場の省エネルギー化を推進しています。



資材倉庫前通路の天井部分

### 揚水設備の改修

ジャノメダイカスト㈱では揚水設備の老朽化に伴い設備の更新を行い、以前の圧力タンク方式から、インバーター付増圧給水方式に変更しました。これにより、揚水時のモーターの回転数を適正に調整することで無駄な電気使用を削減し、省エネに貢献しています。また、老朽化した受水槽からの水漏れもなくなり、より効率的な水資源の利用ができるようになりました。



新設した給水装置

### 空調管理の自動化

ジャノメ台湾㈱の所在地である台中市は年間を通して温暖であり、冷房の使用が多い都市でもあります。同社では、工場内の空調管理を全て自動化しており、現場の室温を26℃、事務所の室温を28℃に設定し一元管理することで電力使用量の最適化を行っています（検査業務等を行う部屋は除く）。

室温の調整には冷房のみを用いるのではなく、設置されたダクトを通した送風を併せて利用することで、異なる部屋の間の温度差を微調整して更なる省電力化を実現しています。



事業所内の送風設備

## 物流での取り組み

### 電動フォークリフトの導入

当社では特別な用途がある場合を除き、排ガス削減のため電動フォークリフトの積極的な導入を行っています。2015年度は新たに2台の電動フォークリフトを購入し、当社内で稼働しているフォークリフト14台のうち11台が電動フォークリフトとなっています。

### 緊急空輸の削減

同じ重量の荷物、同じ距離の移動をする場合、空輸はコンテナ船や陸上の輸送と比べ多くのCO<sub>2</sub>を排出します。この点を考慮して、当社では海外輸送時の緊急空輸の頻度低減に取り組んでいます。2015年度も引き続き、在庫管理の最適化や関連部門との綿密な調整を行い、緊急空輸の削減に取り組みました。空輸の削減は輸送費用の削減にも繋がるため、業務効率や経営効率の観点からも、この取り組みを続けていきます。

## その他の取り組み

### 太陽光発電システムの導入



当社では東京工場2号棟の屋上に太陽光発電システムを設置しており、2015年度の発電量は122,118kWhとなりました。これを二酸化炭素の削減量<sup>\*1</sup>に換算すると、60,571kg-CO<sub>2</sub>となり、スギの木約4,330本のCO<sub>2</sub>年間吸収量<sup>\*2</sup>に相当します。

### 新入社員による高尾山清掃登山



昨年度に引き続き、2015年度の当社の新入社員17名が新入社員研修の一環として、高尾山（八王子市）での清掃活動を実施しました。

### 紙・ゴミ・電気の削減



当社若手社員を中心に環境パフォーマンス改善推進リーダーを任命し、各部署で紙・ゴミ・電気の削減について討議する場を設け、組織横断的な改善活動を展開しています。

<sup>\*1</sup> CO<sub>2</sub>削減量は、東京電力より公表されたプレスリリース「2014年度のCO<sub>2</sub>排出原単位等の実績等について」をもとに算出しています。

<sup>\*2</sup> 50年生のスギの木1本あたりの年間CO<sub>2</sub>吸収量を14kgとして換算しています。（林野庁関東森林管理局ホームページより）

# お客様への取り組み

お客様からの信頼を守るため、品質保証体制、カスタマーサービス体制を整えています。

## 品質保証

### 品質保証体制

当社は、品質マネジメントの国際規格であるISO9001を取得し、品質方針のなかで明記している通り「魅力的な製品とサービスを提供し、お客様の満足と信頼を得ること」を積極的に推進しています。また、品質保証部を中心に、当社グループ全体の品質保証活動を推進しており、当社及び国内外の関連会社において生産するミシン、産業機器などに対する品質監査と品質状況の把握に努めています。

### カスタマーサービス

当社は、全国のお客様のお問い合わせにオペレーターが直接お答えする「お客様相談室」を設置して、ミシンや24時間風呂について、使用方法の説明や修理対応など年間約2万6千件のお問い合わせに対応しています。その中でも、問い合わせ頻度の高いミシンの使用方法については、ホームページ上に「よくあるご質問」としてまとめ、解決方法をいつでもご覧いただけるようにしています。お客様から製品等についてご指摘いただいた内容については、関連部署と情報共有し、製品開発や業務改善に活かしています。また、産業機器については、お客様からのご要望やアフターサービス等に迅速に対応する専門部署を設けて対応しています。

# お取引先様への取り組み

ジャノメグループ行動憲章に謳われている「公正・透明な企業活動」を展開、維持するために活動を行っています。

## 公正な取引・調達活動

### 下請法の順守

ジャノメグループ行動憲章の細則には、「適正な購買方針を確立する」、「優越的な地位を利用して不当な負担を購買先に負わせるようなことはしない」旨を明記しています。当社では社内規定を設け、これに則った事業活動を各部署が行っている他、公正取引委員会や中小企業庁が開催するセミナーに参加し、業務遂行に必要な教育を適宜実施しています。

### 贈収賄の防止

当社は「贈収賄防止への基本方針」を定めており、国内外の公務員に限定しない全てのビジネスパートナーに対して、不当な利益や優遇措置の取得、維持を目的とする接待・贈答、金銭などの授受・供与を禁止しています。具体的には、接待行為の対応基準を定めている他、これら基本方針に沿って事業活動がなされているか等について、内部監査室が必要に応じて監査を行っています。

#### TOPICS 紛争鉱物に対する取り組み

米金融規制改革法（ドット・フランク法）の第1502条・紛争鉱物条項により、コンゴ民主共和国及び周辺国から産出される金、スズ、タンタル、タングステン等を製品・生産に使用する米国上場企業に対して、米証券取引委員会への報告が義務づけられました。この条項は、1996年以来国内紛争が絶えないコンゴ民主共和国の武装集団の資金源を絶つことを目的としており、米国上場企業に製品を供給している当社グループは、企業の社会的責任の観点からこの問題に積極的に取り組んでいます。



紛争鉱物に対する取り組み

[http://www.janome.co.jp/company/conflict\\_minerals.html](http://www.janome.co.jp/company/conflict_minerals.html)

# 社会への取り組み

社会とのつながりを大切にし、様々なステークホルダーの皆様と積極的に関わっています。

## 社会貢献活動

### ピンクリボン運動への参加

ピンクリボン運動とは乳がんに対する正しい知識を広め、乳がん検診の早期受診の推進などを目的として行われている世界的キャンペーンのことです。当社ではピンクリボンモデルミシンを5機種選定し、これらの売上の一部を(財)日本対がん協会の「乳がんをなくす ほほえみ基金」に寄付しています。ほほえみ基金で集められた寄付金は主にマンモグラフィや検診機器の整備、医師・放射線技師の育成、患者支援などに役立てられます。



ピンクリボン運動

[http://www.janome.co.jp/pink\\_ribbon.html](http://www.janome.co.jp/pink_ribbon.html)



ピンクリボンモデルの1つ  
「シェーンⅡ」

### 夏休み親子手づくり教室の開催

当社は本社所在地である八王子市を中心とした住民の皆様を対象に、親子で取り組むソーイング教室を開催しています。2010年に開催して以来、人気イベントとなっており、2015年は「マリンウエストポーチ」を作りました。教室後は希望された方を対象に、当社東京工場とソーイングアトリエの見学会も併せて行いました。



手作り教室の様子

### 障害者スポーツ支援

ジャノメ台湾(株)は2015年8月22日から24日にかけて開催された「第3回台中障害者卓球オープン」に協賛しました。ジャノメ台湾(株)は1969年に創業して以来台中市を拠点としており、今回の協賛は地域への社会貢献の一環として行われました。



大会の様子

# 従業員への取り組み

従業員一人ひとりが、いきいきと働くことができる職場づくりを目指しています。

## 多様性の尊重

### 女性活躍推進の取り組み

当社は「女性の役員・管理職登用にに関する自主行動計画」を策定し、「2020年までに本社の女性管理職を現状の10%から20%とすることを指す」という方針を掲げています。この計画の一環として、2015年度は外部講師を招いて研修会を開催した他、女性活躍推進に関するアンケート調査を実施し取り組みに活かしています。

女性の役員・管理職登用にに関する自主行動計画  
[http://www.janome.co.jp/company/diversity\\_woman.html](http://www.janome.co.jp/company/diversity_woman.html)



研修会の様子

### 人権啓発のための取り組み

当社はグループ行動憲章に則り、人権啓発活動を推進しています。2015年度は人権啓発推進委員会、人権啓発推進者連絡会議を開催し、人権啓発活動の基本方針や進捗状況を確認しました。また、毎年12月の人権週間に合わせて従業員・家族から人権啓発標語を募集し、入選作品を社内表彰しました。入選作品は、当社代表作品として外部団体に応募しており、今年度は当社従業員の作品が佳作に選ばれました。

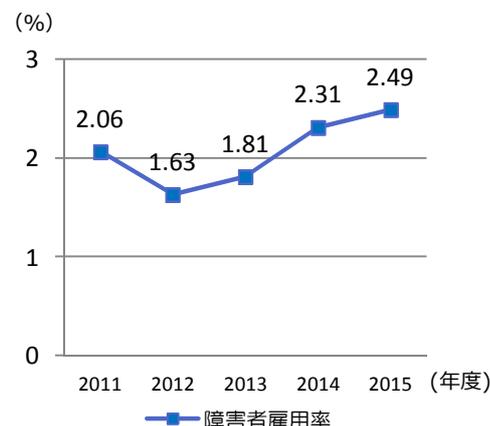
《受賞作品》  
 見ないふり 聞かないふりで 見過ごして そこから始まる 差別やいじめ



表彰状授与の様子

### 定年退職者の再雇用、障害者雇用への取り組み

当社は経験、知識、知恵の継承と、60歳以上の従業員の活躍の場を確保することを目的として、2006年より「定年後再雇用制度」を導入し、原則として希望者全員が65歳まで働くことができる体制を整備しており、多くの従業員が本制度を利用して勤務を続けています。また、障害者の雇用を推進しており、2016年3月末時点の障害者雇用率は2.49%となっています。（法定雇用率は2.0%）



## 人財育成

当社では優れた技術と豊かな知恵、グローバルに活躍できる柔軟さを社員一人ひとりが備えるべく、人財育成に独自のプログラム体系を採用し、専門部署を中心にさまざまな取り組みを展開しています。各階層ごとに必要なスキルを学ぶ集合研修や、社内で受けることができる英会話研修、簿記のe-ラーニング研修を実施している他、公募制の海外派遣研修制度を設けており、2015年度は2名がこの制度を利用して海外研修を受けています。



キャリアパス

<http://www.janome.co.jp/recruit/careerpath/>

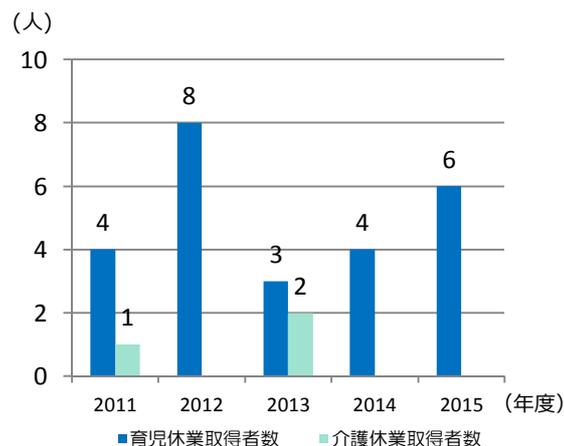


入社3年目の社員を対象にした基礎教育研修の様子

## ワーク・ライフ・バランス

当社では従業員の仕事と生活の両立を支援するため、育児休業や介護休業の制度を設けており、「子育てサポート企業」として厚生労働大臣が認定する「くるみんマーク」を2008年に取得しています。昨年度は6名(うち男性1名)が育児休業を取得しました。復職後も子供が小学2年生の年度末に達する前まで短時間勤務をすることが可能で、多くの従業員がこの制度を利用しています。

この他、年次有給休暇連続取得運動の実施、リフレッシュ休暇制度の導入、毎週水曜日をノー残業デーとし終業前にアナウンスを実施するなど、従業員のワーク・ライフ・バランスを推進しています。



## メンタルヘルスケア

当社では2012年に「心の健康づくり計画」を策定し、活気ある職場づくりに取り組んでいます。ハラスメント相談窓口や産業カウンセラーによる従業員相談室を設置している他、2015年度は役職別にメンタルヘルス講習会を実施し、メンタルヘルスケアの必要性や、予防のために必要な事柄について教育を行いました。



メンタルヘルス講習会の様子

## 労働安全衛生

### 安全パトロールの実施

当社は職場の安全確保のため、安全衛生委員会の委員による安全パトロールを毎月2回実施しています。委員が敷地内を巡回し直接点検することで、従業員に危険が及ぶような事象がないかチェックをしています。パトロールした際に発見された改善点は、担当の部署長あてに連絡し適宜対応しています。また、パトロール内容は安全衛生委員会の場で他の委員と共有しており、問題・改善点の水平展開を図っています。



東京工場におけるパトロールの様子

### 自衛消防訓練・AED訓練

東京消防庁八王子消防署浅川出張所のご協力をいただき、本社全従業員を対象とした自衛消防訓練を実施しました。本社3号棟1階の東京工場から出火したという想定のもと、社内一斉放送から避難人員報告まで実施した後、消火器による初期消火や自衛消防隊による屋外消火栓を使用した放水訓練を行いました。

また、この訓練とは別に、屋内でAED（自動体外式除細動器）訓練を行い、3人1組でトレーニングキットを使った胸骨圧迫及び、AEDの使用による心肺蘇生訓練を実践しました。



放水訓練の様子

### 自転車安全利用モデル企業に選出

当社は2015年7月、警視庁より「自転車安全利用モデル企業」の指定を受けました。これは、従業員の交通安全意識の高揚と自転車の安全管理に努める企業の拡大を図ることを目的とした制度で、基準を満たし、かつ、他の企業の模範となることが指定の条件となっています。

また、八王子市高尾地区における地域の交通安全活動を積極的に推進し、特に「平成27年春の交通安全運動」に際し、交通事故防止に貢献をした事業所として、高尾警察署及び高尾交通安全協会より感謝状が授与されました。



安全運転指導の様子

# コーポレート・ガバナンス

業務の適正性、財務報告の信頼性を確保するとともに、関係法令・定款等を順守する経営を実現するため、コーポレート・ガバナンスの充実に取り組んでいます。

## 基本方針

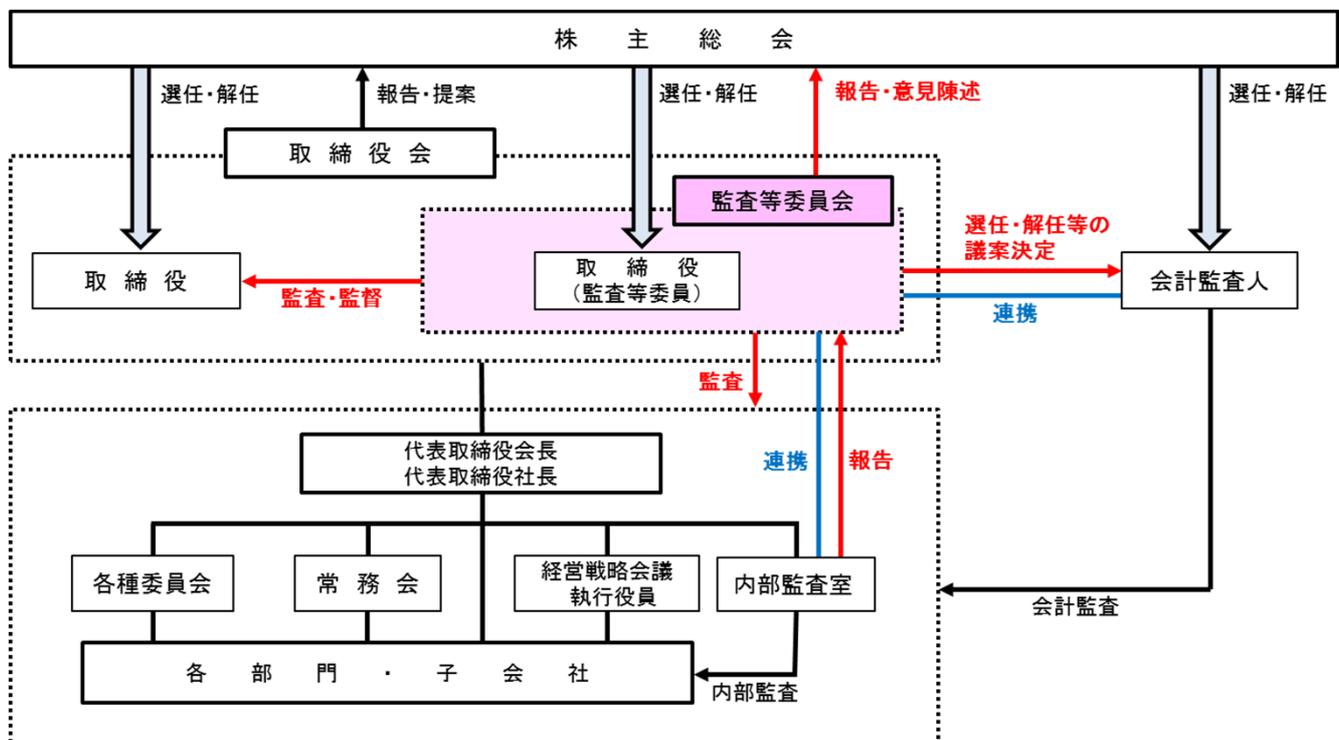
当社グループの持続的な成長と、中長期的な企業価値の向上を目的とし、コーポレート・ガバナンスの更なる強化を図るため「コーポレート・ガバナンス基本方針」を策定しています。


 コーポレート・ガバナンス基本方針  
<http://www.janome.co.jp/company/governance.html>

## 監査等委員会設置会社への移行

取締役会の監査・監督機能の一層の強化とコーポレート・ガバナンスの更なる充実を図るとともに、権限委譲による迅速な意思決定と業務執行により、経営の公正性、透明性及び効率性を高めるため、2016年6月17日開催の第90回定時株主総会でのご承認をもって、当社は監査等委員会設置会社へ移行いたしました。

現在の体制は、監査等委員を除く取締役6名、執行役員14名(うち取締役兼務者5名)、監査等委員である取締役4名(うち社外取締役3名)という構成となっています。(2016年6月17日現在)




 監査等委員会設置会社への移行及び定款一部変更に関するお知らせ  
<http://www.janome.co.jp/ir/news/news198.pdf>



## 個人情報保護

事業活動を通じて取得した個人情報は、業務を遂行する上で大変重要なものであると同時に、プライバシーに関わる大切なものです。当社はグループ行動憲章に掲げた「情報の適正管理」を実現するため、個人情報保護方針を定めており、個人情報管理委員会を設置して社内規定に基づき個人情報保護計画を策定し、監査、社内研修等を行っています。



個人情報保護方針

<http://www.janome.co.jp/privacy.html>

### TOPICS 個人情報保護社内研修会の実施

当社では、2015年度に全従業員を対象に個人情報保護社内研修会を実施しました。これは毎年個人情報管理委員会が実施している職制向けの研修会の対象範囲を拡大したものであり、個人情報漏えい事故の事例、個人が具体的にできる対策等について学びました。



## 適切な情報開示

株主様には、年に2回株主通信を発行し、連結決算や当該年度のトピックス等についてご報告しています。また、投資家の皆様とのコミュニケーションを図るため、マスコミや証券アナリストの方々を対象とした決算説明会を2015年5月と11月に開催いたしました。この他、ホームページ上でもさまざまなIR情報を掲載し、株主・投資家の皆様への適時適切な情報提供に努めています。

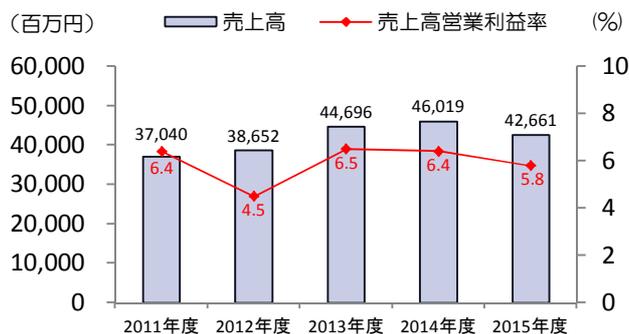


株主・投資家の皆様へ

<http://www.janome.co.jp/ir/index.html>

# 連結経営成績及び財務データ

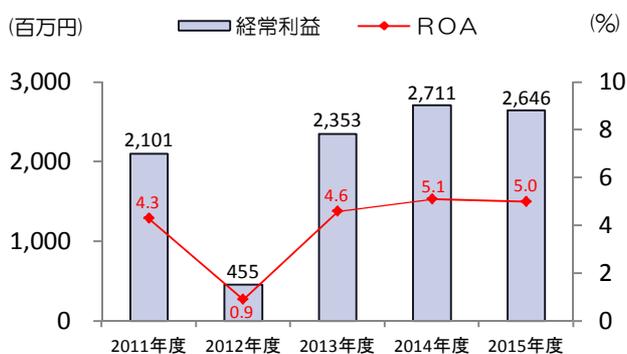
## ●売上高・売上高営業利益率※1



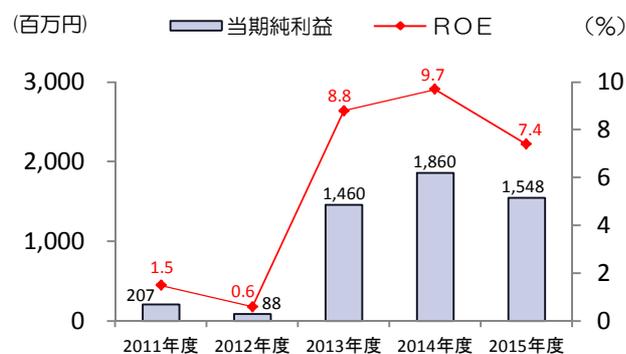
## ●総資産・自己資本比率



## ●経常利益・総資産経常利益率 (ROA)※2



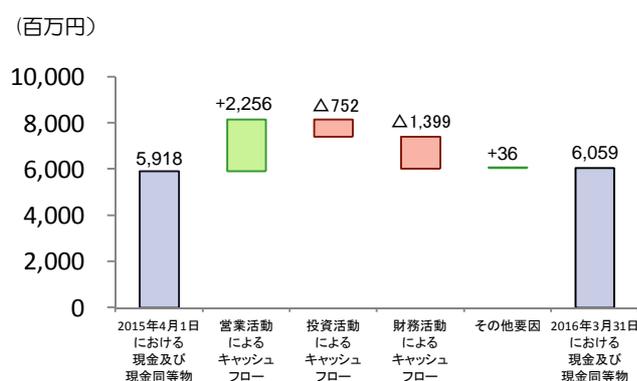
## ●当期純利益・自己資本純利益率 (ROE)※3



## ●有利子負債高・有利子負債依存度※4



## ●キャッシュ・フローの状況



※1 売上高営業利益率＝営業利益÷売上高×100

※2 総資産経常利益率 (ROA)＝経常利益÷総資産×100

※3 自己資本純利益率 (ROE)＝純利益÷自己資本×100

※4 有利子負債依存度＝有利子負債÷総資産×100

## 会社概要

社名	蛇の目ミシン工業株式会社
創業	1921（大正10）年10月
設立	1950（昭和25）年6月
本社所在地	東京都八王子市狭間町1463番地
代表者	代表取締役社長 大場 道夫
資本金	113億7,300万円
連結従業員数	3,316名（2016年3月31日現在）
決算日	3月31日



ジャノメミシンの歴史

<http://www.janome.co.jp/company/hstry1.html>

## 関連グループ会社

### 【国内】

●ジャノメダイカスト(株) ○(株)ジャノメクレディア ○(株)ジャノメサービス ○(株)サン・プランニング

### 【海外】

●ジャノメ台湾(株) ●ジャノメタイランド(株) ●ジャノメダイカストタイランド(株)  
 ○ジャノメアメリカ(株) ○ジャノメカナダ(株) ○ジャノメUK(株) ○ジャノメヨーロッパ(株)  
 ○ジャノメドイツ(有) ○ジャノメオーストラリア(株) ○ジャノメニュージーランド(株)  
 ○ジャノメラテンアメリカ(有) ○ジャノメブラジル(有) ○エルナスイス(株) ○ジャノメメキシコサービス(有)  
 ○ジャノメインダストリアルエキップメントアメリカ(株) ○ジャノメインダストリアルエキップメントヨーロッパ(有)  
 ○ジャノメインダストリアルエキップメント上海(有) ○ジャノメインダストリアルエキップメント台湾(株)

●生産拠点 ○販売・サービス拠点



国内グループ会社・海外生産会社

<http://www.janome.co.jp/company/group.html>



海外販売会社

[http://www.janome.co.jp/company/overseas\\_sales.html](http://www.janome.co.jp/company/overseas_sales.html)

**JANOME**

環境報告書 2016